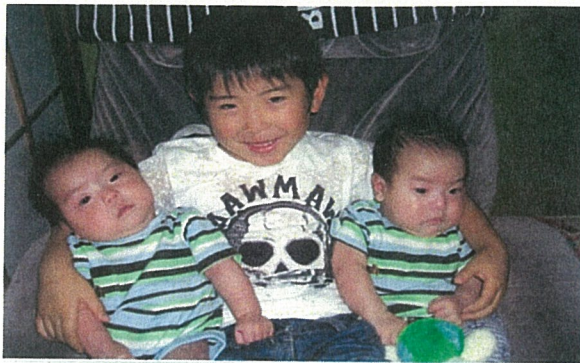


ひと ひと

女と男の情報紙

# 笑がお



## 台湾のおじいさんの笑顔 ～憎しみを越えて～

私の息子の結婚相手は、台湾の女性。  
出会いはアメリカ。二人は同じ大学で知り合った。  
彼女の熱烈なラブアタックに、感激した息子のプロポーズであったらしい。

彼女の父方のおじいさんは、太平洋戦争のとき、日本軍に目の前で両親を殺害されている。  
おじいさんの日本人嫌いは良く知られていた。  
孫の結婚相手が日本人であることを受け入れてくれるのだろうか。

結婚式は二人が暮らすアメリカのNYでおこなわれた。  
遠方のおじいさんは、参列できなかった。  
その年の夏、台湾でも披露宴をすることになった。  
当日、私におじいさんは、  
「神様が、あなたの息子と私の孫を出会わせてくれました。  
過去はどうあれ、私はとてもうれしいです」と上手な日本語で話し、手を差し伸べてくれた。  
その顔には、あふれんばかりの笑顔が輝いていた。  
大きな不安をもっていた私の胸に、とてもあついものがこみ上げてきた。  
骨太の小さな手からは、暖かい想いが心地よく伝わってきた。  
おじいさんの目を見つめながら、おじいさんの姿がしだいに涙でかすんでいった。  
人は、許すことのできる存在なのだと、その笑顔が教えてくれていた。

みんなが笑顔でいられるために……

みんなが笑顔になる街づくり・地域づくりを

一緒に考えていきませんか？



# イキイキ笑顔人

自分らしく  
輝いている人見つけた。



ファイルNO8. <sup>かとう</sup>加藤 <sup>さとし</sup>智 さん27歳

プロフィール: 吉川市内の兼業農家に生まれ育つ。夫人、4歳の娘と1歳の息子の4人家族。趣味は車・スノーボード。

脱サラして“農業”にチャレンジ。  
美味しい“小松菜”を  
全力で生産しています。

自分らしく輝いている人の笑顔っていいな……。サラリーマンから小松菜生産農家に転身して3年目になる加藤智さん。27歳にして、可愛い二人のお子さんを持つパパでもある加藤さんのイキイキ「笑顔」のわけを語ってもらいました。

た子ども時代の思い出でした。時間に追われるのではなく、自ら計画して農作物を作り収穫する喜び。そうだ！家族との時間を優先して、子供の成長を見守れる生活がしたい！と思ったのです。そして、妻ともよく話し合い、「脱サラをして農業を仕事にしよう」という道を選びました。農業でも米作りだけで生計を立てるのは難しいので、思いついたのが『小松菜』。さっそく親戚の小松菜生産農家で半年間の研修をさせてもらいました。相談した父母や祖父母は、「やるんだったら全力でしっかりとやれ。子供のためにも頑張れ」と言ってくれました。初めて自分の作った小松菜を出荷できた時の喜びは格別でしたね。

## 少しずつ、耕作面積を広げて

毎日、だいたい600袋の小松菜を出荷しています。露地とハウスの畑で作っていますが、3年前に小松菜の生産を始めてから少しずつ耕作面積を増やして、最近、田圃2枚分くらいの広いハウスを建てることができました。種を蒔いてから出荷まで、夏は1ヶ月、冬は2ヶ月かかります。1年を通してほぼ同じ出荷量にして収入の安定を計りたいので、小松菜の成長の遅い冬場は、夏の2倍の広さの耕作面積にしなければなりません。そのためにも、広いハウスが必要なのです。ほとんどの農作業は僕がやりますが、収穫などを隣家に住む父母や祖父母、妻の母とか、みんなに手伝ってもらっています。

## 超多忙だったサラリーマン生活

社会人としてのスタートは、大学在学中からアルバイトをしていたガソリンスタンドの社員からでした。結婚して長女が生まれ、その後、もっと高額な給料がもらえる運送関係の仕事に就きました。確かに収入は増えたものの、拘束時間が長く体力的にもハードなものでした。繁忙期には、朝4時半に家を出て帰宅は午前2時といったケースもあり、休日は体力回復のためにひたすら寝てしまう日々。家族と過ごす時間もなく疲労がたまり、この生活があと何年続けられるか、将来はどうなるかといった不安も募って転職を考えるようになりました。

## 家族との時間を大切にしたい

そんな頃、ふと心に浮かんだのが家族全員で稲刈りをし

## 笑顔のある“農業生活”

農業を始めて本当に良かったと思います。普段の生活は、朝から日没まで農作業はたくさんありますが、合間の時間で子供たちと遊んでやれますし、毎日の食事を家族一緒に食べられる幸せがあります。長女は小松菜が大好きで、味噌汁に入れると小松菜ばかりすすって食べてしまい、笑顔で「美味しい」と言ってくれます。嬉しいですね。僕はまだ小松菜農家一代目なので、いろいろ試行錯誤しながら成長していきたいと思っています。若い生産者が増えて、吉川名物になるくらい小松菜生産が活発になればいいですね。

### 小松菜豆知識



関東を中心に広い地域で栽培されている。

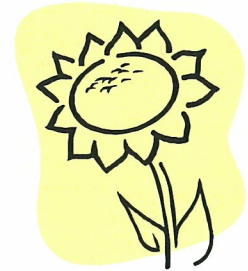
小松菜の由来は江戸時代で東京の小松川（現在の江戸川区）で作られていたことから小松菜と呼ばれるようになったという説がある。



## 柴野弁護士が答えるDV相談！

しばの法律事務所 柴野 和善 弁護士

[www.shibano-law.jp](http://www.shibano-law.jp)



### 相談

DV被害の妻。逃げても逃げても、追いかけてくる夫。住民票を夫にわからないように変更する方法は？

30代です。夫の暴力がこわくて逃げ出しました。離婚したくてもできません。最初は実家に戻ったのですが、実家まで来て大声でわめき、近所にも恥ずかしいと親に言われ、友人を頼って上京しました。しかし住民票がないと仕事も健康保険証も手にいれることができません。住民票を移すと夫がいつの間にか調べて追いかけてきます。20代から転々としてその場しのぎの仕事をしてきましたが、そろそろ将来を考えて落ち着きたいとも思っています。DVの夫と正式に離婚して、追いかけてられないようにしたいのですが、どうしたらいいのでしょうか？

### 回答

まず、配偶者暴力相談支援センターや弁護士に相談を。

市役所で、DV被害を受けている旨を伝え、「住民基本台帳事務における支援措置申出書」という用紙があるので、これに必要事項を記載の上、提出することで、夫に自分の住民票の異動先を知られないようにすることができます。これは、平成16年に当時の総務省から全国の各自治体に連絡されています。

ただし、これは住民登録についての情報（住民票や戸籍の附票）の秘匿に限定されています。なので、たとえば社会保険の通知で新住所が発覚したりする可能性がないとはいえません。郵便物などは、当面、転送依頼することもできますので、住民票の異動の必要性、そのタイミングや異動先などを、離婚やDV法の保護命令をお願いすることになるであろう弁護士に、よく相談した方がいいかもしれません。

なお、裁判所への書類でも、新住所を秘匿することが認められていますが、最終的な離婚判決などには、住民票上の住所などの本人が特定できる住所が記載されます。こうしたことなども弁護士に配慮してもらうよう、実情をお話してください。

### DV相談は

あなたがあなたらしく生きられるように、夫 パートナーからのDVに悩んでいたら相談してみましょう。

相談受付日時：月～金（祝日、年末年始を除く） 午前9時から午後5時まで

配偶者暴力相談支援センター DV相談専用電話

☎ 982-5968

## 掲示板

平成21年度男女共同参画推進事業 「関心がある方は、ぜひ、ご参加ください。」



# 今、あらためて学ぶ「男女共同参画」

男女共同参画基本法施行から10年を迎えて、男女ともに自分らしく生きられる世の中について考えませんか？  
関心がある方は、ぜひ、ご参加ください。

	日 時	テ ー マ	内 容	講 師
1	<b>10月29日(木)</b> 午前10時15分～ 12時まで	今、あらためて学ぶ 男女共同参画	男女共同参画基本法施行から10年を迎えて、男女共同参画をめぐる変化と課題について	埼玉県職員
2	<b>11月12日(木)</b> 午前10時15分～ 12時まで	DVIはなぜ起こる 被害者支援について	配偶者等からの暴力はなぜ起こるのか？その暴力と被害者支援について	埼玉県職員
3	<b>11月26日(木)</b> 午前10時15分～ 12時まで	吉川市の男女共同参画の 状況について	市の男女共同参画推進計画の進捗状況について	市職員

会 場 市民交流センターおあしす セミナールーム3

対 象 成人男女 各20名

参加費 無料

参加を希望する方は、各回3日前までに市民参加推進課(電話 982-9685)まで直接又は電話にてお申し込みください。

### 「女性に対する暴力をなくす運動」について

夫・パートナーからの暴力、性犯罪、売買春、セクシュアル・ハラスメント、ストーカー行為等女性に対する暴力は、女性の人権を著しく侵害するものであり、男女共同参画社会を形成していく上で克服すべき重要な課題である。

本来、暴力は、その対象の性別や加害者、被害者の間柄を問わず、決して許されるものではないが、暴力の現状や男女の置かれている我が国の社会構造の実態を直視するとき、特に女性に対する暴力について早急に対応する必要がある。

この運動を一つの機会ととらえ、地方公共団体、女性団体その他の関係団体との連携、協力の下、社会の意識啓発など、女性に対する暴力の問題に関する取組を一層強化することとする。

また、女性に対する暴力の根底には、女性の人権の軽視があることから、女性の人権の尊重のための意識啓発や教育の充実を図ることとする。

○ 期 間 毎年11月12日から11月25日(女性に対する暴力撤廃国際日)までの2週間

私たちの情報紙作成のお手伝いをいただける方を募集します。気軽に声をかけてください。

\* 題字については、檜垣民子さんのご協力をいただきました。

発 行 吉川市男女共同参画推進市民会議OB「笑がおの会」  
問合せ 吉川市市民参加推進課男女共同参画・文化交流担当  
〒342-8501 埼玉県吉川市吉川2-1-1  
電 話 048-982-9685 FAX 048-981-5682

